

## 7. 学びの到達度を評価しよう

### 1 到達度評価とは

#### 〔1〕到達度の目標を知ろう

到達度評価では、自分が所定の目標に対してどれくらい達成したかを評価します。そこで、まず、到達の目標を知る必要があります。3～7ページには、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題発見・解決能力、情報リテラシー、態度・志向性についての目標行動が述べられています。それらを読み、よく理解しましょう。

コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題発見・解決能力、情報リテラシー、態度・志向性

テキスト1章3節「リエゾンゼミについて知ろう(1)目的編」参照

#### 〔2〕入学時の到達度を評価する

入学時にどのくらい到達しているかを自分で評価します。コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題発見・解決能力、情報リテラシー、態度・志向性のそれぞれの各下位項目について、あてはまる数字に○を付けます。また、総合評価を計算式によって求めます。

#### 〔3〕グラフに記入する

8～10ページには、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題発見・解決能力、情報リテラシー、態度・志向性についての総合評価のグラフがあります。各総合評価の値を棒グラフにして表します。

#### 〔4〕各学年終了時の到達度を評価し、グラフに記入する

各学年終了時にどのくらい到達したかを、〔2〕と同じやり方で自分で評価し、総合評価を求めます。そして、〔3〕と同じやり方で棒グラフにして表します。

#### 〔5〕確認する

学年進行につれて、各棒グラフが上がっている場合や各棒グラフが高い総合評価で同じ場合は、学びの姿勢がみられます。学年進行につれて、各棒グラフが下がっている場合や低い総合評価で同じ場合は、学びの姿勢が乏しいようです。

なお、各総合評価の得点を四捨五入することで、10ページの「学びの

#### 姿勢

吉田松陰は「志を立ててをもって万事の源となす」といい、志を立てることを最も大事にしました。そして、たとえ志半ばで死んだとしても志をもって向かう姿勢を大切にしました。学びの姿勢にも同じことが言えます。

姿勢スコアの計算方法」により、おおよその学びの姿勢スコアをもとめることができます。

## 〔6〕改善を検討する

総合評価が上がっていない場合は、各下位項目によって、上がっていない項目を調べ、それを明確にします。その上で、次年度の改善の目標とそのための行動を検討します。

目標に向かう行動としては、「小さな、容易な、おもしろいもの」を考えるとよいでしょう。それにより、自分にもできそうだと思い、わくわくして意欲的に取り組めることでしょう。また、目標とその行動にかかわるものを身近に置き、目標を意識するような環境づくりをします。目標に向かう行動をとったときは目に見えるように記録することを考えます（カレンダーや手帳に○をつけるなど）。さらに、お互いに励まし合う仲間を見つけるとよいでしょう。仲間と励ましあうことにより、達成しやすくなります。

これを学年終了時に繰り返して行います。

ことわざに「意志あるところに道は開ける」「雨垂れ石をも穿つ」「千里の道も一歩から」というね。

元野球選手のイチローのこんな言葉もありました。「小さなことを重ねることが、とんでもないところにいくただ一つの道」



評価する能力	コミュニケーション能力		
到達目標	A. (少人数ゼミ、実習でのディスカッション、ディベート等において) グループの中で他人の意見を尊重して聞き、正しく理解し、かつ批判的に考えたうえで、自分の意見を分かりやすく表現できる。		
	B. (少人数ゼミ、実習でのディスカッション、ディベート等において) 専門的なテーマに関して十分な学習をし、グループでの討論や議論において適切な手順・手段を用いて分かりやすく説明したうえで、グループの中での意見を自分なりにまとめ、今までになかった新しいアイデアの発想へとつなげることができる。		
A. 傾聴力 表現力 相互理解	1 他人の意見について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 尊重していないか、鵜呑みにしており、理解できていない。</li> <li>2. 尊重して聞き、一通り理解できる。</li> <li>3. 尊重して聞き、言いたいことを正しく理解できる。</li> <li>4. 尊重して聞き、深いところ(意図や気持ちなど)まで理解できる。</li> <li>5. 尊重して聞き、十分に理解した上で、さまざまな視点から考えることができる。</li> </ul>	
	2 自分の意見について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 伝えていないか、伝わっていない。</li> <li>2. それなりに伝えることができる。</li> <li>3. 伝えることができるが、相互理解には到っていない。</li> <li>4. わかりやすく伝え、意見の異なる相手との相互理解を得ることができる。</li> <li>5. さまざまな説明の方法や手段を駆使し、わかりやすく伝え、意見の異なる相手との相互理解を得ることができる。</li> </ul>	
B. 情報収集力 要約力 創造力	1 専門的なテーマに関する学習について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 行っていない。</li> <li>2. 行っているが、不十分である。</li> <li>3. 適度に行っている。</li> <li>4. 十分に行っている。</li> <li>5. さまざまな角度から十分に学習を行っている。</li> </ul>	
	2 議論の目標について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 設定せず、一方的な主張・誤った認識によって議論になっていない。</li> <li>2. 設定し、それに合わせた展開を心がけているが、不十分である。</li> <li>3. 設定し、それに合わせて議論を適度に展開できる。</li> <li>4. 設定し、それに合わせて議論を十分に展開できる。</li> <li>5. 設定し、それに合わせてさまざまな角度から議論を展開できる。</li> </ul>	
	3 グループでの討論や議論における自分なりの意見や主張について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 適切な手順・手段を用いて分かりやすく説明していない。</li> <li>2. 適切な手順・手段を用いて説明しようとしているが、不十分である。</li> <li>3. 適切な手順・手段を用いて分かりやすく説明できる。</li> <li>4. 適切な手順・手段を用いて分かりやすく説明し、相手を納得させることができる。</li> <li>5. 適切で創造的な手順・手段を用いて分かりやすく説明し、相手を十分に納得させることができる。</li> </ul>	
	4 グループの中での意見について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 自分なりにまとめていない。</li> <li>2. 自分なりにまとめているが、不明確である。</li> <li>3. 自分なりに適度にまとめることができる。</li> <li>4. 自分なりにまとめ、要点を正確に述べることができる。</li> <li>5. 自分なりにまとめ、グループ全体を今までになかった新しいアイデアの発想へとつなげることができる。</li> </ul>	
評価	Aの評価 (A1+A2)÷2=	Bの評価 (B1+B2+B3+B4)÷4=	総合評価 (A+B)÷2=

評価する能力	プレゼンテーション能力	
到達目標	A. 1) 課題の内容に対する歴史的な背景や周囲の状況を把握でき、課題の目的が明快に説明できる。 2) 調査・研究方法・結果をその道筋に沿って説明できる。 3) 十分な検証のもと、結果を課題と関連づけて説明し、結果の持つ意味合いを理解している。 4) 改題解決法の特徴・オリジナリティを示し、今後の展望について述べるができる。	
	B. 1) 資料やOHP等が適切に用意できる。 2) 発表の道筋をよく理解しており、堂々とした態度で発表できる。 3) 質問の意味を正確に把握して的確な答えをスムーズに話すことができる。	
A. 発表事前 準備力	課題の内容 に対して	1. 学習が足りていない。 2. 学習しているが、不十分である。 3. 歴史的な背景や周囲の状況が把握できており、課題の目的を説明できる。 4. 歴史的な背景や周囲の状況が正確に把握できており、課題の目的を明快に説明できる。 5. 十分に歴史的な背景や周囲の状況を調べ、さまざまな角度から考えて把握できており、課題の目的を明快に説明できる。
	2 調査・研究方 法・結果につ いて	1. 説明していない。 2. 説明しているが、不十分である。 3. その道筋に沿って説明できる。 4. その道筋に沿って効果的に説明できる。 5. その道筋に沿って効果的に説明でき、優れたオリジナリティを示すことができる。
	3 結果と課題 の関連づけ について	1. 関連づけていない。 2. ある程度関連づけることができる。 3. 関連づけて説明し、結果の持つ意味合いを理解できる。 4. 関連づけて説明し、結果の持つ意味合いを検証し理解できる。 5. 関連づけて説明し、結果の持つ意味合いを十分に検証したうえで理解できる。
	4 課題解決法 と今後の展 望について	1. 述べていない。 2. 述べているが、不十分である。 3. 課題解決法を示し、今後の展望について述べるができる。 4. 課題解決法の特徴・オリジナリティを示し、今後の展望について述べるができる。 5. 課題解決法の特徴・オリジナリティを示し、今後の展望について説得力をもって述べるができる。
B. 発表表現 力	1 資料やスラ イド・OHP 等について	1. 用意していない。 2. 用意しているが、不十分である。 3. 適度に用意している。 4. 相手に理解させようと努力して適切に用意している。 5. 相手に理解させようと努力してオリジナリティがあるものを適切に用意している。
	2 発表の道筋 と発表の態 度について	1. 発表の道筋がたっており、発表の態度に問題がある。 2. 発表の道筋を理解しており、問題なく発表する。 3. 発表の道筋をよく理解しており、問題なく発表する。 4. 発表の道筋をよく理解しており、堂々と発表する。 5. 発表の道筋をよく理解しており、堂々と発表し（声、表情を含む）、相手から十分な理解を得ることができる。
	3 質問につ いて	1. 質問の意味を把握していない。的確な答えをしていない。 2. 質問の意味を把握して答えているが、不十分である。 3. 質問の意味を正確に把握して答えを話すことができる。

		4. 質問の意味を正確に把握して的確な答えを話すことができる。 5. 質問の意味を正確に把握して的確な答えをスムーズに話すことができる。
評価	A の評価 $(A1+A2+A3+A4) \div 4=$	B の評価 $(B1+B2+B3) \div 3=$ 総合評価 $(A+B) \div 2=$

評価する能力	問題発見・解決能力	
到達目標	A. 物事のあるべき姿と現状のギャップについて把握できており、何が解決すべき問題なのかを性格に見つけ出している。	
	B. 調査・分析によって何が課題かを因果関係から理解し、解決のための方向付けと優先順位が付けられている。	
	C. 達成目標を設定し、順序立てて計画を立て、実行している。	
	D. 実行した結果を多面的に検証して正しく評価し、必要ならば改善し、次の計画へと反映させている。	
A. 課題発見力	1 課題について	1. 課題発見解決力というテーマを理解できていない。 2. 課題発見解決力というテーマを理解できる。 3. 課題発見解決というテーマを理解し、物事のあるべき姿と現状のギャップについて把握しようと努めている。 4. 課題を正しく理解し、物事のあるべき姿と現状のギャップについて把握できる。 5. 課題に対してのあるべき姿と現状のギャップについて把握でき、何が解決すべき課題なのかを見つけ出すことができる。
B. 課題分析力	2 調査・分析について	1. 調査（情報収集）・分析が不十分である。課題の因果関係を理解できない。 2. 調査・分析によって何が課題かを因果関係から理解できる。 3. 調査・分析によって何が課題かを因果関係から理解でき、解決のための方向付けができる。 4. 調査・分析によって何が課題かを因果関係から理解でき、解決のための方向付けと優先順位をある程度付けることができる。 5. 調査・分析によって何が課題かを因果関係から理解でき、解決のための方向付けと優先順位を付けることが的確にできる。
C. 計画実行力	3 計画・実行について	1. 計画を立てることができない。 2. 計画を立てることができるが、達成目標が曖昧である。または具体的には無理がある。あるいは、計画倒れで実行が伴わない。 3. 達成目標を設定し、計画を立てて実行できる。 4. 達成目標を設定した計画を立てることができ、計画に沿って実行できる。 5. 達成目標を設定し、創造的思考をもって最善の計画を立て、その計画に沿って実行できる。
D. 検証力	2 検証について	1. 検証をしていない。 2. 一通り検証ができる。 3. 実行した結果を検証し、正しく評価できる。 4. 実行した結果を検証し、正しく評価し、次の計画へとつなげていくことができる。 5. 実行した結果を多面的に検証し、正しく評価し、必要ならば改善し、次の計画へと反映させることができる。
評価	A の評価 =	B の評価=      C の評価=      D の評価=      総合評価 $(A+B+C+D) \div 4=$

情報リテラシー：適切に情報通信機器（ICT）を使用し活用することができる能力			
	下位スキル	到達目標	自己評価
1	基本設定・基本操作スキル	パーソナルコンピューター（PC）を設定し、メールやインターネットを使うことができる。	1. できない 2. どちらとも言えない 3. できる
2	操作スキル	PC や関連機器を操作することができる（ワープロソフト・表計算ソフト・パワーポイント等を使うことができる）	1. できない 2. どちらとも言えない 3. できる
3	情報収集スキル	PC を用い、情報検索・文献検索やインターネットを介して、適切かつ必要な情報を収集できる。	1. できない 2. どちらとも言えない 3. できる
4	情報処理スキル	得られた情報やデータを、PC を用いて整理することができる。	1. できない 2. どちらとも言えない 3. できる
5	分析・解釈・表現スキル	PC を用い、情報を分析・解釈し、その結果を分かりやすく図や表に表すことができる。	1. できない 2. どちらとも言えない 3. できる
6	応用的スキル	PC を用い、適切で分かりやすい資料等が作成できる。	1. できない 2. どちらとも言えない 3. できる
評価	総合評価（項目 1+項目 2+項目 3+項目 4+小目 5+項目 6）÷6= 到達度： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 0～2項目だけできる</li> <li>2. 3項目だけできる</li> <li>3. 4項目できる</li> <li>4. 5項目できる</li> <li>5. 6項目できる</li> </ol>		

態度・志向性：できるようにめざしている心がけ			
	項目	到達目標	自己評価
1	自己管理能力	自らを律して行動できる。	1. 考えたことがない。 2. 関心は持っているが、心がけてはいない。 3. たまに自覚を持ち、心がけたいと思う。 4. 時々自覚を持ち、実際に心がけている。 5. いつも自覚を持ち、持続して心がけている。
2	チームワーク	他者と協調・協働して行動できる。	1. 考えたことがない。 2. 関心は持っているが、心がけてはいない。 3. たまに自覚を持ち、心がけたいと思う。 4. 時々自覚を持ち、実際に心がけている。 5. いつも自覚を持ち、持続して心がけている。
3	リーダーシップ	他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。	1. 考えたことがない。 2. 関心は持っているが、心がけてはいない。 3. たまに自覚を持ち、心がけたいと思う。 4. 時々自覚を持ち、実際に心がけている。 5. いつも自覚を持ち、持続して心がけている。
4	倫理観	自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。	1. 考えたことがない。 2. 関心は持っているが、心がけてはいない。 3. たまに自覚を持ち、心がけたいと思う。 4. 時々自覚を持ち、実際に心がけている。 5. いつも自覚を持ち、持続して心がけている。
5	市民としての社会的責任	社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使しつつ、社会の発展のために積極的に関与できる。	1. 考えたことがない。 2. 関心は持っているが、心がけてはいない。 3. たまに自覚を持ち、心がけたいと思う。 4. 時々自覚を持ち、実際に心がけている。 5. いつも自覚を持ち、持続して心がけている。
6	生涯学習力	卒業後も自律・自立して学習できる。	1. 考えたことがない。 2. 関心は持っているが、心がけてはいない。 3. たまに自覚を持ち、心がけたいと思う。 4. 時々自覚を持ち、実際に心がけている。 5. いつも自覚を持ち、持続して心がけている。
評価	総合評価 (項目 1+項目 2+項目 3+項目 4+項目 5+項目 6)÷6=		

コミュニケーション能力

5					
4					
3					
2					
1					
	入学時	1年終了時	2年終了時	3年終了時	4年終了時

プレゼンテーション能力

5					
4					
3					
2					
1					
	入学時	1年終了時	2年終了時	3年終了時	4年終了時



問題発見・解決能力

5					
4					
3					
2					
1					
	入学時	1年終了時	2年終了時	3年終了時	4年終了時

情報リテラシー

5					
4					
3					
2					
1					
	入学時	1年終了時	2年終了時	3年終了時	4年終了時

態度・志向性

5					
4					
3					
2					
1	入学時	1年終了時	2年終了時	3年終了時	4年終了時

●学びの姿勢スコアの計算方法

		総合評価の前回値				
		1	2	3	4	5
今回値	1	(-4)点	(-4)点	(-4)点	(-4)点	(-4)点
	2	(+1)	(-2)	(-2)	(-3)	(-4)
	3	(+2)	(+2)	(+1)	(-1)	(-2)
	4	(+3)	(+3)	(+2)	(+2)	(-1)
	5	(+4)	(+4)	(+3)	(+3)	(+3)

●学びの姿勢スコアの推移

	1年終了時	2年終了時	3年終了時	4年終了時
コミュニケーション能力				
プレゼンテーション能力				
問題発見・解決能力				
情報リテラシー				
態度・志向性				